

「メディアリテラシーを育む中学校・国語科年間カリキュラム および 実践事例集」

● 代表者

川崎市 中学・国語同好会 中村 純子

● 教材の対象年齢

中学1年から3年 (13歳から15歳)

● 時間数

1時間の授業は50分と考え、12の実践案はそれぞれ2時間から4時間で構成している。4つの指導項目を1学期に1つ、2学期に2つ、3学期に1つずつ、3年間かけて積み上げていくことにより、より着実なメディアリテラシーを育てていくことを意図している。

● ポイント

国語科におけるメディアリテラシーの指導項目

- 1、メディアと自分との関わりを認識する。
- 2、メディアの構成・演出の技法を知る。
- 3、メディアを批判的に読み解く。
- 4、メディアの意味の多様性を理解し、表現活動を行う。

授業作りのポイント

- ① コラボレーション（共同作業）で理解を深める。
- ② 授業では必ず音声言語の活動を設定する。
- ③ 生徒の個性を認め合う環境を作る。

年間カリキュラム概要 《詳細は別添のとおり》

- 1、メディアと自分との関わりを認識する。【1学期】
 - 1年 「メディア自分史で自己紹介 (バズセッション)」
 - 2年 「どのメディアを使う? (パネルディスカッション)」
 - 3年 「論題『テレビ視聴の是非』 (ディベート)」
- 2、メディアの構成・演出の技法を知る。【2学期】
 - 1年 「映像文法の基礎 (絵カード)」
 - 2年 「CM技術命名プレゼンテーション (ビデオ)」
 - 3年 「映画制作・編集体験 (*ビデオ教材)」
- 3、メディアを批判的に読み解く。【2学期】
 - 1年 「ニュースの比較 新聞 (見出しと写真)」
 - 2年 「ニュースの比較 新聞・テレビ (音声と映像)」
 - 3年 「リサイクル? (立場が異なる二つの説明文の比較)」
- 4、メディアの意味の多様性を理解し、表現活動を行う。【3学期】
 - 1年 「写真を読ませる」
 - 2年 「『北の国から』 絵コンテ制作」
 - 3年 「『手』の映像から文章表現 (*ビデオ教材)」

* =オリジナル教材

メディアリテラシー 年間カリキュラム

	1 メディアと自分との関わりを認識する。	2 メディアの構成・演出の技法を知る。	3 メディアを批判的に読み解く。	4 メディアの意味の多様性を理解し 表現活動を行う。
1年	<p>メディア自分史で自己紹介 自分の生育史とともに関わったメディアについての思い出をワークシートに書く。 6人グループで1人3分自己紹介スピーチを行う。 聞き手はメモを取り、互いの共通項を認識する。 メディアについて考えたことを書く。 <バズセッション></p>	<p>映像文法の基礎 絵カードを使って、映像文法の基礎となるカメラワーク、モンタージュ技法について知る。 絵カードを6枚使って、ドラマの1シーンのストーリーを作り、絵コンテ台本を班で作成する。 発表会を行う。</p>	<p>ニュースの比較・新聞 3枚の報道写真を見て、何の報道かを考える。 台風の被害を伝えるものであることを確認した上で、各社新聞の一面の写真を比較し、順位を付け、その分析理由を書く。 新聞の一面の記事を見て、写真のキャプションと見出しの内容が一致しているか、どの見出しが一番良いか、分析する。 班毎に順位を発表し、その理由を話し合う。</p>	<p>写真を読ませる 写真の特性について説明を聞く。 写真を読む方向が言葉で決定されることを知る。 猫の写真を見て好きなものをいくつか選ぶ。 選んだ写真を構成し、添える言葉を考える。 言葉の表現は川柳・俳句・短歌・童話から選択する。 作品発表会を行う。</p>
2年	<p>どのメディアを使う？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>*けんかした友達に謝りたい。 何で伝える？ 直接話す・携帯メール・電話・手紙・メール</p> </div> <p>自分の立場を決め、グループで立論をたてる。 パネルディスカッションで、意見交換を行う。 自分の意見をまとめる。 <パネルディスカッション></p>	<p>CM技術命名プレゼンテーション 班毎に好きなTV・CMを一つに決め、ワークシートにカット割りを書き込む。 そのCMが商品を印象づけようと工夫している技法に命名をする。 例「比べてドン」「キャラ勝ち」プレゼンテーションを行う。</p>	<p>ニュースの比較・新聞・テレビ 雪の被害を伝える新聞5紙の写真と見出しの比較を行う。 同じ日のテレビのニュースの音声だけを聞いてどのような情報が記憶に残ったか確認する。 同じニュースを画面も視察し、印象に残ったかを確認する。 映像画面の構成を新聞の写真と比較する。 新聞とテレビのニュースの特性を考える。班で話し合い、全体で検討する。</p>	<p>『北の国から』絵コンテ制作 シナリオを読み、1シーンを選び、分析する。 ・登場人物の性格・状況 ・その場面の前後の意味 絵コンテを描く。 実際に放映されたもののその部分の絵コンテを書く。 自分たちの絵コンテと比較・分析する。</p>
3年	<p>論題『テレビ視聴の是非』 「青少年にはテレビを積極的に視聴させるべきである。是か否か。」という論題に対する肯定側立論、否定的立論を作る。 (根拠となる証拠資料は自分の体験から取材する。) 二人一組のチームでミニ・ディベートを行い、「肯定」「否定」「判定」の3つの立場を順に体験する。 <ディベート></p>	<p>映画制作・編集体験 生徒作品のシナリオを読み、1シーンを編集し直した3つのパターンを見比べ、どの編集がよいか話し合う。 生徒作品の映像を、工夫を加えたい点を考えながら鑑賞する。 シナリオを元にグループ毎に実際に演じ、発表する。</p>	<p>リサイクル？ 二つの説明文を読み比べ、論争のポイントを見極める。 筆者略歴をチェックする。 身近な事例を想起する。 両者の意見から自分がもっともだと思ふ部分を引用しながら、意見文を書く。</p>	<p>『手』の映像から文章表現 ビデオ作品『手』を見る。 手の動きを表す語や修飾語を挙げ、語彙を確認する。 映像からイメージを広げ、創作するジャンルを選択する。 詩・意見文・説明文・物語・随筆など。 創作活動を行う。 朗読発表する。</p>